

## 令和元年春期 金沢東部地区推進連絡会

### 1 日時

令和元年 5 月 25 日（土） 16 : 00～16 : 50

### 2 場所

谷津坂会館

### 3 参加者 40 名

（地域側）自治会等地域団体関係 23 名

（支援チーム、その他行政側）

区役所 5 名

支援チーム 10 名

（橋梁関係）

道路局 2 名

### 4 意見交換要旨

#### （1）開会の挨拶（青木 金沢東部地区連合町内会長）

金沢東部地区の推進連絡会としては、地域福祉保健計画実行委員会のそれぞれの分科会の検討項目を共有するとともに、行政からの視点や行政としての方針についてお話いただきたいと思っている。

この地域は、50～60 年前までは人が住んでいなかった。堀口町内会の方々が少しいらっしゃったが、その後の高度経済成長による開発で全国から人が集まってできた地域である。したがって、お寺やお宮があったりする昔からの町内会ではない比較的新しい街であるが、西柴小中学校を拠点として、町内会設立当時のメンバーで町内会の運営を行っている円熟した体制だと思っているので、本日もどうぞよろしくお願ひしたい。

#### （2）区の挨拶（栗原 副区長）

地区推進連絡会は、地区社協の方を中心に作られた地域福祉保健計画について、東部地区の計画がどのように行われたかを振り返る場となっている。また、平成 28 年度から始まった第 3 期地域福祉保健計画も今年 4 年目を迎えている

区全体の取り組みとしては、情報のデータベース化を進めており、社会福祉協議会や地域ケアプラザの生活支援コーディネーターに情報共有を行っていた

また、高齢者が暮らしやすいまちづくりということで、近年課題となってい

る高齢者の買い物支援について取り組んでいこうという動きがある。

金沢東部地区では「超高齢化社会を見据えて誰もが健康で安全・安心に暮らせる金沢東部地区を目指していこう」という大きな目標を掲げている。区役所・地域ケアプラザ・区社会福祉協議会も地域支援チームとして一体となって金沢東部のまちづくりを進めていきたいと思っている。今後ともよろしく願いしたい。

(3) 自己紹介

区・支援チーム・地域、各自自己紹介。

(4) 金沢東部地区 地区別計画の振り返りについて

(宮野 金沢東部地区社会福祉協議会 会長)

分科会の役割と今年度の取り組みの一部を紹介。

・第一分科会

役割は、災害対策。

要援護者名簿の更新および要援護者支援体制の見直し。

西柴小・中学校での防災訓練も積極的に行っている。

・第二分科会

役割は、超高齢化を見据えた体制作り。

高齢男性の社会進出、健康寿命の延伸、仲間作りを目指してメンズエクササイズを立ち上げた。今年度は転倒予防や腰痛の改善等の活動も取り入れていく予定。また、ボランティアを必要としない自主活動になるよう徐々に移行を進めていく。

・第三分科会

役割は、障がい者支援。障害児者の理解周知と避難スペースづくりを目指す。今期は施設訪問を計画していて、避難スペースづくりをどのように進めるか検討を行うとともに、区社協との関係を強化したいと思っている。

・第四分科会

4つの取り組みに向けて、各事業部との連携および協働を目指す。

今年度の課題としては、ボランティアスタッフの強化・世代間交流の場の模索・活動的な子どもの居場所対策があげられ、検討を進めていく。夏休みイベントとして、「みんなで作って食べよう」を実施予定。

・第五分科会

役割は、地域の課題の解決。

取り組みは、配食サービス・在宅福祉サービス・人材バンク。

いずれもボランティアの高齢化による担い手不足が課題。

対策の一つとして、公園巡りを行う「ミドロのサロン」を立ち上げ、ボランティアの方が参加できるような取り組みを行っている。

(5) 行政からの情報提供

①「個性ある区づくり推進費」等予算について。

(栗山 地域支援チームリーダー)

区づくり推進費予算案について説明。

(予算編成の考え方、推進費の説明、4つの事業などを説明。)

令和元年度 金沢区内市民活動の補助金の紹介。

(担当部署にご連絡いただくよう周知。)

②片吹歩道橋及びかたぶき人道橋の架換工事について

(道路局橋梁課 小島担当係長より)

架け換え工事の進捗状況について、ご説明。

(歩道の拡幅、設置状況、今後の工事の予定等)について説明。

今後の工事の予定について、現時点でお示しできる段階ではないため、詳細が決まり次第、早急にご連絡させていただく。

(質疑応答)

・宗村 西柴中学校PTA会長

片吹人道橋は多くの方が使用する大事な橋。

工事が遅くなるのは問題ないが、16号線の横断歩道を小学生が通行するのはかなり危険。見守りの人もいらっしゃるが、対応しきれない部分もある。その点の配慮はどのようになっているのか。

小学生が必ず使用する橋であることを忘れないでほしい。

→ 道路局 小島係長

どうしても橋が渡れない期間が出てきてしまうため、引き続き国土交通省と協議を行っていく。現状、渡れない期間を短くできるような工事の方法等について検討を進めている。

・加納 西柴小学校PTA会長

渡れない期間が分かるのは、いつごろか。

→ 道路局 小島係長

橋の撤去に伴って道路が渡れなくなってしまうが、撤去工事は国土交通省によって行われる。その撤去工事の発注の際に、手を挙げる業者が

おらず、再発注の手続きを行っているのが現状であり、夏までに業者が決まる予定とのこと。業者が決まり次第、検討を行ってからご説明させていただければと思う。

・宗村 西柴中学校PTA会長

小学校1年生に国道を渡らせるのは非常に危険。子どもの命なので、人を置く等の対策をとっていただきたい。

・小田桐 谷津坂西部自治会長

日常生活で橋を使っているため、突然通れなくなるのは子どもが戸惑ってしまう。時期については、なるべく早めに教えてほしい。

以前の話では、夏休みの期間に工事を行うということであったがどうか。

→ 道路局 小島係長

当初はその予定だったが、工事の遅れによって延期になっている。

改めて工事の時期等は検討させていただければと思う。

(7) 閉会の挨拶 (林 金沢東部地区連合町内副会長)

「超高齢社会を見据えて 誰もが健康で安全・安心に暮らせる街を目指して」という金沢東部のキャッチフレーズは非常に良いものであり、活動内容も面白いものばかりである。行政も一緒により活動に取り組んでいければと思う。